

2020年4月17日

サノフィ、世界血友病デーに、患者さんの思いを映し出す サンドアート(砂絵)動画を公開

～サンドアートのアーティストとして様々なフィールドで活躍されているkoheiさんを起用～

サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:岩屋孝彦、以下「サノフィ」)は、世界血友病デーに、患者さんの思いを映し出すサンドアート(砂絵)動画を公開しましたので、お知らせいたします。

本日 4月 17日は「世界血友病デー」です。これは世界血友病連盟(WFH)の創設者である故フランク・シュナーベル氏の誕生日に由来し、血友病やその他の遺伝性出血性疾患に対する理解を深め、その診断と治療向上を目指して1989年に制定されました。今年で30周年を迎えました。

この度、サノフィでは、血友病の患者さんを勇気づけるとともに、血友病などの希少血液疾患の患者さんに寄り添い支え続ける当社の取り組みを紹介するため、新たな動画を作成しました。サンドアート(砂絵)のアーティストとして様々なフィールドで活躍されているkoheiさんに作画いただきました。

こちらの動画は、サノフィの血友病疾患情報サイト「ヘモフィリア Today」の「患者さん向け動画コンテンツ」ページ(<https://www.hemophiliatoday.jp/patient/movie/>)、および公式 YouTube チャンネル(<https://youtu.be/sJZo5mo8iT0>)でご覧いただけます。

サノフィは、希少血液疾患領域において、引き続き日本の患者さんに希望をお届けできるよう鋭意努力し、患者さんとそのご家族や医療関係者へ更なる貢献をまいります。

血友病について

血友病は、血液凝固第 VIII 因子または第 IX 因子が不足しているか、欠損しているため、血液の凝固能が低下する希少な遺伝性疾患です。原因が第 VIII 因子の場合を血友病 A、第 IX 因子の場合を血友病 B と呼びます。

血友病の患者さんは、繰り返す出血やそれに伴う痛み、不可逆的な関節損傷、また致命的な出血を引き起こすことがあります。現在は、出血してから血液凝固因子製剤を投与するのではなく、定期的に補充する定期補充療法が主流になっています¹。定期補充療法は、出血や関節破壊を未然に防ぐことができるので、世界血友病連盟(WFH)により標準療法として推奨されています²。

サノフィは、健康上の課題に立ち向かう人々を支えます。私たちは、人々の健康にフォーカスしたグローバルなバイオ医薬品企業として、ワクチンで人々を守り、革新的な医薬品で痛みや苦しみを和らげます。希少疾患をもつ少数の人々から、慢性疾患をもつ何百万もの人々まで、寄り添い支え続けます。

サノフィでは、100カ国において10万人以上の社員が、革新的な医科学研究に基づいたヘルスケア・ソリューションの創出に、世界中で取り組んでいます。

サノフィは、「Empowering Life」のスローガンの下、ヘルスジャーニー・パートナーとして人々を支えます。

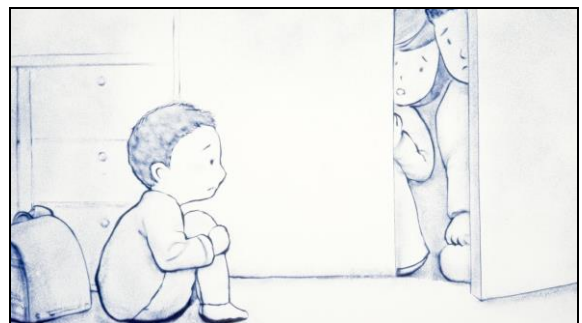
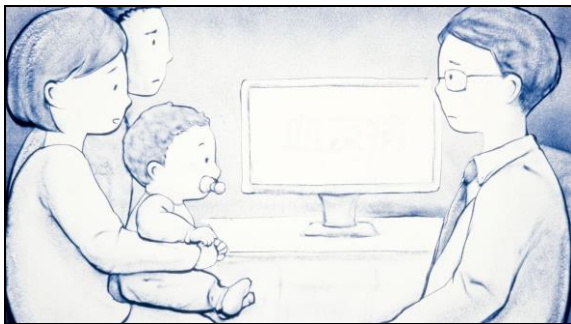
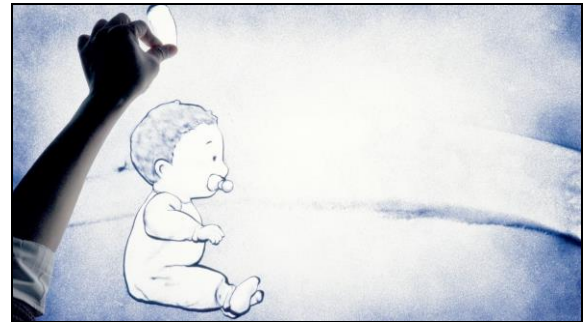
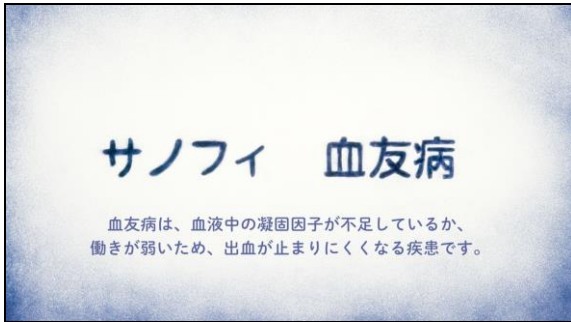
日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。

¹ World Federation of Hemophilia. About Bleeding Disorders – Frequently Asked Questions. Available at: http://www.wfh.org/en/page.aspx?pid=637#Difference_A_B. Accessed on: June 17, 2016

² Guideline for the management of hemophilia, World Federation of Hemophilia, 2nd edition, <http://www1.wfh.org/publications/files/pdf-1472.pdf>. Accessed on December 2015



<別紙1> サンドアート動画使用カット (2分9秒)








4/17は 世界血友病デー*です。

*「世界血友病デー」は、血友病とその他の遺伝性出血性障害に対する理解を深めることを目的に1989年に制定されました。

サノフィは、
革新的な医学研究に基づいた
ヘルスケア・ソリューションの創出を通じ、
血友病などの希少血液疾患の患者さんに
寄り添い支え続けます。



サノフィによる
血液凝固因子製剤の無償提供により、
2015年以降、
世界中で **16,500人** の
患者さんが救われています。



SANOFI 

GZJPHEM.20.03.0528b



<別紙2>

サンドアート作者 Kohei氏 プロフィール



画家・サンドアーティスト
日本サンドアート・パフォーマンス協会[sapa]会員
sapa認定サンドアート講師
日本医療科学大学非常勤講師

2004年、六本木での初個展を皮切りに光と生命力をテーマに芸術活動を開始。

東京を中心に発表の場を広げていき、ニューヨーク等の海外でも作品を発表。

2007年に開催された第二回JAB(ライブペンティングの大会)にて芸術家の篠原有司男氏から絶賛され優勝。同時に審査員賞も受賞。

テレビで見た海外サンドアーティストの作品に衝撃を受け2010年から独学サンドアートの研究を始めた。数年間の修行を経てからプロ活動を開始。

2015年には東京ステーションホテル100周年記念前夜祭でのパフォーマンスを成功させる。

従兄弟でもある歌手AIの代表曲「story」のミュージックビデオは、複数の報道番組で取り上げられ話題を呼んだ。

2016年、ブライダルファッションデザイナーの桂由美氏が「指輪」の実演を見た事が縁で「Yumi Katsura Grand Collection in Osaka 2016」にサンドアート映像を提供。同年にサンドアート普及や医療利用を目指し、日本科学医療大学で非常勤講師も勤めている。

2017年、山口県立美術館にて母子向けにワークショップを開催 その他に椿山荘、マンダリンオリエンタル、ザ・リッツ・カールトン東京、八芳園、キャピトルホテル東京、マリオットホテルなど実演多数。

2018年、ハイアットセントリック銀座東京の開業に伴い、銀座の歴史を表現したサンドアート映像を提供し、開業パーティにてサンドアート実演を披露 新高輪プリンスホテル飛天の間にて、桧家ホールディング30周年記念イベントで実演を披露 ザ・リッツカールトン東京にて、ダイワ工業株式会社のイベントで実演を披露 学校法人城西学園の100周年記念式典では、オリジナルのサンドアートを披露し、学生向けの講演をおこなった。

その後もサンドアートパフォーマーとしての活動及び絵画の制作を続けている。

メディア紹介

フジテレビ「みんなのニュース」「めざましテレビ」

日本テレビ「Stories」

